

Forest Good2019 間伐・間伐材利用コンクール

間伐実践・環境教育部門 間伐推進中央協議会会長賞

武内町親林会

取組の名称	小学生を対象とした森林学習の取組み	
活動の種類	○	間伐の実践（間伐の実施・普及、集約化取組、間伐技術の開発・工夫、間伐材の販売など）
	○	環境教育活動（地域住民への普及啓発活動含む）
取組の概要・特徴	森林・林業のことについて学ぶ室内学習と、高性能林業機械等を活用している間伐現場の見学及び丸太伐り体験等を行う校外学習を実施している。森林・林業と直接触れ合い、森林への興味・関心が高まる内容となっている。	
取組のきっかけ、目的	平成 29 年度の総会で地域の森林・林業における課題について話し合った結果、後継者不足や荒廃森林の増加が話題に上がり、森林への関心が大きく薄れてきていることが原因と考えられた。その対策として、子供の頃から森林への関心を高めていくことが必要との認識から、森林教室で普及啓発を図り、将来的な林業後継者育成と森林の適正な管理につながることを目標に取り組み始めた。	
計画性・継続性	小学 5 年生を対象に平成 29 年度から継続して取り組んでいる。武内町は山林の麓に人家が存在するなど森林が生活環境に密接しており、ひとたび山で災害が発生すれば、下方の人家に直接被害が発生する恐れがあるため、森林の適正な維持管理は非常に重要であり、そのため森林教室は永続的に実施することになっている。	
実行体制・安全対策	武内町親林会の会員が準備から開催まで分担して企画運営しており、県の林業普及指導員を講師に招き、地元の森林組合が間伐作業現場を学習場所として提供していただくなど、関係機関の協力のもと実施している。校外学習では、会員を現場に複数人配置して安全確認を行うとともに、現場では全員ヘルメット・手袋を着用して学習している。これまで 2 回開催しているがケガ人等は発生していない。	
取組の実績（年間）	地元の武内小学校で毎年度 1 回（平成 30 年 1 月、平成 30 年 11 月）	
地域への貢献・波及性	平成 29 年度の初回開催を受けた地元の武内小学校では大変好評であったことから、校長先生が武雄市の校長会で森林教室を紹介された。その結果、他の小学校でも是非開催してほしいと反響が大きかったことから、武雄杵島地域の市町・森林組合・木材同業組合・県農林事務所で開催する「武雄杵島地区林業協議会」の主催で平成 30 年度は 3 校開催されるなど広がりをみせている。令和元年度も前年度以上の開催が見込まれている。	
活動に関する写真・図表等	<p>間伐作業現場の見学</p> 	<p>丸太伐り体験状況</p> 
連絡先等	(住 所) 〒849-2342 (担当部署等) 武内町親林会 会長 平原実 (電話番号等) TEL: 0954-27-2457 (U R L)	
	FAX:	